

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

菊越しに目礼交す今朝の秋

さつき3丁目 野武俊志

特選

●特選の選評 菊の花が咲き始めた近所と我が家の中庭。「菊越し」と「今朝の秋」で季語が二つと思われるかも知れないが、菊越しの目礼は近所の人との親しさを感じさせ、下五の「今朝の秋」が爽やかな秋の庭を表している秀句である。

俳句



加茂都紀女先生

縦書きの文字美しく文化の日

清原台1丁目

須藤典子

桜5丁目 遠藤芳孝

ちいさき子命ふきこむしやばん玉
給食のモロが恋しい冬休み

下戸祭1丁目 豊田まりえ

霜焼の母の耳たぶなつかしき
梵天を担ぎ若人声かけて
お羽黒山の坂駆け上がる

南町 濱野 洋子

西2丁目 佐藤順子

細谷町 福田則子

ベランダに音符が踊るつるし柿

村に熊タヌキとキツネ永田町

熱章は母の手のしわ顔のしわ
ひとひらのハイネに会えた散歩道

八幡台 堂前 登喜子

短歌



藤本都先生

ポポーの町めざせし町長逝きたるも
植えし苗木は空へ伸びゆく

東町 月井綾子

キツチンの床に落としたピーマンの
種は三粒腰痛如何に

下田原町 五十嵐由美子

日盛りにさつき来てもう帰る人
油蟬鳴きツクツクも鳴く

立伏町 望月睦子

秋の空澄みて身を寄す羊雲の
混みあふごとに日暮れとなりぬ

大曾5丁目 岩淵煦美子

言い訳の多き人なり雪見酒

八幡台 羽場京子

裏

川柳



佐藤隆久先生

ひどひらのハイネに会えた散歩道

清原台6丁目 小太刀節子

平松本町 川野和美

ベランダに音符が踊るつるし柿

●特選の選評 ほとんどの空は澄み渡っているが、青が透けて見えるような羊雲がいて、その混み合うさまが面白く、用事の合間に見ていたら夕方になってしまった。混み合う形そのままに……。何のことはない自然、何のことはない生活だが、それを愛おしみ丁寧に暮らす作者がいる。

菊越しに目礼交す今朝の秋

さつき3丁目 野武俊志

特選

●特選の選評 ほとんどの空は澄み渡っているが、青が透けて見えるような羊雲がいて、その混み合うさまが面白く、用事の合間に見ていたら夕方になってしまった。混み合う形そのままに……。何のことはない自然、何のことはない生活だが、それを愛おしみ丁寧に暮らす作者がいる。

川柳

八幡台 羽場京子

裏

- 1人各3句（首）以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品（漢字にはふりがなも）・作品への思い。
- 毎月20日（消印有効）までに、〒320-8540市役所広報広聴課（632）2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。

ID 1022877



▲市HP

住所・氏名・壇名	ふりがな
宇都宮市役所広報広聴課	
〒320-8540	

作品への思い
作品への思い
作品への思い